

みらいふる鎌倉 会員広報紙

発行



橘亭の門

鎌倉市老人クラブ連合会
 発行人 大久保安夫
 編集人 都筑 健一
 門田 京蔵
 山本 照子
 〒248-8686
 鎌倉市御成町18-10
 鎌倉市老人クラブ連合会
 (通称・みらいふる鎌倉)
 ☎(0467)61-3930

第60号

印刷 (株)博報社 大阪市平野区喜連西4-6-69 ☎(06)6797-0212

4月初旬、「桜は散り際も美しい」と思いを馳せながら早乙女氏を待つ。周りを見渡すと、花びらが舞散る段葛に大勢の観光客が行き交っている。よく晴れ



たその日、氏は「ふわり」とした物腰で若宮大路に現われた。桜を背に和服で佇むその姿は、まるで現代に現われた武士そのものである。気骨の文人・早乙女貢氏は、

かまくらびとに聞く

作家・鎌倉ペンクラブ会長
早乙女 貢氏

昭和44年「僑人の檻」で直木賞を受賞して以来、歴史・時代小説家として活躍。数々の作品を発表してこられたが、中でも『会津士魂』は、氏の代表作である。「敗者の立場から戊辰戦争・明治維新を検証すること」を宿命とする早乙女氏に、桜香漂う二の鳥居前の浅羽屋でお話を伺うことができた。「あなたへの気持ちだから」と氏からいただいた、若い日からの活躍ぶりがうかがわれるグラフィックな分厚いコピーファイルを片手に…。

(4月5日 対談者 門田)

まず老人クラブの現状を数字から見てみよう(下表)。鎌倉市老連が他都市に比べていかに退潮・停滞しているかが明らかである。全

4ページに何が自単位クラブの問題点か、そして自クラブのあり方・原点に戻って考えてみるべく、3

2012年3月までの
目標

みらいふる鎌倉

5,000人

目標と輪を広げよう

☆あなたが「みらいふる鎌倉」の会員でなくても、この記事を読んで関心をお持ち下さい。そしてあなたがもしお若ければ両親への問題として話題にしてあげて下さい。



今こそ!! 単位クラブの抱えている問題を鮮明にし、**「体質改善」と「活性化」への取り組みを!**

国平均加入率20%に対し9%、5年前の約5000人より20%減の会員数である。

「変わらなげや!」とかけ声だけで、現実をみつめて真剣な抜本策が足りない。

月の理事会メンバーの意見交換をふまえ、単位クラブの現状を加えてまとめた。

〈県内他都市の加入状況表〉

〈鎌倉市老連の推移〉

	クラブ数	会員数(人)	65歳以上加入率(%)
横須賀	205	11,882	12.7
平塚	140	8,143	16.8
鎌倉	85	4,001	9.1
藤沢	180	10,252	14.7
小田原	158	10,591	25.5
逗子	65	2,825	18.5
横浜	1,810	123,489	19.3
県下総合計	4,289	273,739	17.4(全国20%)

平成	クラブ数	会員数(人)
15	103	4,598
16	100	4,471
17	96	4,312
18	91	4,189
19	85	4,001

◎鎌倉市(65歳以上)高齢化率(H15)22.7%
 ◇(H17)25.5%
 県下第2位の高齢化率である

鎌倉市の人口176,484人 高齢化率(65歳以上)全市25.9%(地区別※ 鎌倉地区7.9%、腰越地区4.4%、深沢地区5.0%、大船地区5.6%、玉縄地区3.0%) 平成20年3月末日現在 ※市全人口に対する割合
 鎌倉市老連会員数3,918人(地区別 鎌倉地区1,375人(35.1%)、腰越地区479人(12.3%)、深沢地区676人(17.2%)、大船地区790人(20.1%)、玉縄地区598人(15.3%) 平成20年3月末現在
 ★鎌倉市老連ホームページアドレス <http://www.kamakura-rouren.jp/> ★メールアドレス info@kamakura-rouren.jp ◎数字は住民基本台帳をもとにしています

早乙女氏には平成17年に老人大学寿講座で「明治維新の真実」の講演をお願いしたこともあり、みなさんにとってよりなじみの深い先生であろつ。

早乙女氏は28歳のころより山本周五郎の知遇を得て師事、創作に専念し始める。――山本周五郎先生は弟子を取らない方ですが、どうして弟子になれたのでしょうか？

早乙女 それがね、ぼくにも理由がよくわかんないんだなあ。たまたま編集者に誘われて行ったら、「ちょいちょい来なさい」と言われた。後で聞いてみたら、弟子をとるなんて一番嫌う人だ、他に弟子なんていないって。

と語り一笑に付する早乙女氏だが、幕末の話になると眼が光る。

会津藩士の末裔である早乙女氏は、幕末維新期から明治初期にかけての会津藩主と藩士たち、さらにその家族の苦難と北への転地の運命、討幕派によって朝敵の烙印を押されてしまった会津藩の無念を敗者側からの視点で歴史をひも解く。それが『会津士魂』である。『会津士魂』は昭和46年（1971年）「歴史読本」で連載を開始し、昭和63年（1988年）に完結、全13巻を刊行した。そして翌年4月、第23回吉川英治文学賞を受賞。63歳の時である。さらにペンは

進み、同年には『続会津士魂』（第二期明治篇）の連載を開始。平成13年（2001年）に『続会津士魂（八）山河の巻』を刊行し、ここに全21巻が完結する。実に30年の歳月を費やした、「志」のこもる大作である。明治維新は長州・薩摩などが唱導した尊王のための革命と言われるが、氏の視点からみる明治維新は、権力の野望に燃えたクーデターといえるだろう。



ここで氏の刊行する冊子のカバー絵にも注目したい。会津士魂（集英社文庫）全21巻の表紙には、ペンを絵筆に持ちかえての力作が顔を揃える。

――文筆の仕事の他に絵を描こうと思ったのはなぜ？

早乙女 単にきつかけは思いつきなんです。昭和50年前後だったかな、知人が新しい出版社を立ち上げ、その経営を助けてやろうと絵の個展を開いた。そこで売れなければいいけど完売しちゃったんだなあ。それが

いろいろなところで個展を開き、一緒に講演をしていた岡本太郎に「うまい、うまい」なんて言われてね。あの男は口だけはうまかったからなあ（笑）

――絵は全くの余技でね。正式に絵を習ったわけじゃないんだ」と語る氏は、平成11年（1999年）に開催された「政経文化画人展」に油絵『哀しみの橋・ネレトバ』を出展し、文部大臣賞を受賞する。そして平成16年（2004年）には油絵『モロツコの市場』で総理大臣賞を受賞。思いつきで始まった絵画の世界でも天賦の才を発揮している。

そして、今後の創作活動も気になるところだ。――続会津士魂は、西南戦争終戦で終わっています。『続々会津士魂』のご予定は？

早乙女 書くよ、書かねばならない！――どついう方向でお書きになるのでしょうか。

早乙女 まずね、明治11年の大久保利通暗殺に始まり、アメリカから帰ってきた山川捨松、それから大山蔵、そついった人物から順々に入ってきますね。それから大きな事件がありましてね、三島通庸が福島県令になり、会津三方道路の建設をした時、大変な一揆

が起きるわけですよ。早乙女氏の口からは、幕末、明治維新、維新後と、

私たちの知り得ない歴史が流れるように奏でられる。

早乙女 続々を書き上げるのに、僕はあと50年は生きなければならぬ。あと50年生きたら、あなたはいくつ？

逆に問われてドキッとした。先生は現在82歳。完成が50年後というと、実に132歳ということだ。その意欲にも驚かされる。前頁にも書いたが、氏の動きはとても軽やかだ。本当に132歳まで書き続けてほしいと、ますますの精励を祈らずにはいられない。

早乙女 僕がこんなに元気なものね、鎌倉に住んでいるからだと思えますよ。気候、ロケーションともによく、変化に富んでいる。こんな贅沢なところはない。だから、いかに第一次ペンクラブの方たちが鎌倉を愛したかがよくわかります。

第二次鎌倉ペンクラブ会長の目線でも、鎌倉は世界一だ、と断言する。鎌倉芸術祭の開催しかり、よその土地では真似のできない響きがある。文学にとどまらず、芸術の薫る街、鎌

倉を、鎌倉ペンクラブとして大いにブッシュしていきたいと抱負を語る。

早乙女 あとは余分な心配をしないこと。大金持ちになろうとか、出世しようとか、政治的野心を一切持たない、気楽に生きるのがいね。よく運動はどれくらいしますかって聞かれるけど、はつきり言つて何もしていないんです（笑）。

――50年間医者知らずである氏の健康の秘訣は、精神での充実である。我々も先生に負けず鎌倉を心の財産として満喫し、豊かな精神を育もう！そして今こそ『会津士魂』全21巻にチャレンジしてみよう！

早乙女 貢氏 プロフィール

さおとめみつぐ 大正15年中国ハルビン生まれ。昭和29年から山本周五郎に師事。31年伊藤桂一、尾崎秀樹らと同人誌「小説会議」創刊。同誌掲載の『僑人の檻』で44年直木賞受賞。戦国時代と幕末維新の歴史小説を本領とし、なかでも大河小説『会津士魂』13巻で平成元年吉川英治文学賞受賞。『続会津士魂』8巻はその真髓を成す。ほかに『おけい』『沖田総司』『新撰組銘々伝』など。平成15年『わが師山本周五郎』で大衆文学研究会賞。平成15年鎌倉ペンクラブ会長就任。鎌倉市在住。

平成20年度 みらいふる鎌倉 事業計画

日 程	行 事 名
4月30日(水)	平成20年総会(鎌倉生涯学習センター)
5月7日(水)～9日(金)	市老連研修旅行(足利市老連交流事業)
5月20日(火)	機関紙「やまもも第60号」発行
5月23日(金)	釣り大会(腰越港)
5月29日(木)	料理教室
6月19日(木) 雨天の場合20日(金)	グラウンドゴルフ大会
6月8日(日)～20日(金)	ダンス講習会(社協)
7月1日(火)～3日(木)	市老連研修旅行(北海道・旭山動物園)
7月7日(月)～10日(木)	第44回老人大学寿講座(レイウエル鎌倉)
7月21日(祝)	みらいふる鎌倉サマーパーティ(レイウエル鎌倉)
9月3日(水)～5日(金)	市老連研修旅行
9月7日(日)	福祉バザー
10月2日(木) 雨天の場合3日(金)	栄区シニアクラブ連合会とのグラウンドゴルフ交流大会
10月2日(木)	ゴルフ大会(鎌倉パブリック)
10月4日(土)～11月1日(土)	ダンス講習会(武道館)
10月中旬	横須賀・三浦ブロックグラウンドゴルフ大会
11月13日(木)～19日(水)	第36回高齢者の趣味の作品展
11月14日(金)	功労者のつどい(鎌倉生涯学習センター)
11月中旬	鎌倉駅前清掃
11月21日(金)	芸能祭(仮称)
11月25日(火)	機関紙「やまもも第61号」発行
11月25日(火)～27日(木)	市老連研修旅行(沖縄)
12月12日(金)	年末慰問
12月20日(土)	ダンスパーティー(社協)
1月8日(木)	新年賀詞交歓会
2月20日(金)または21日(土)	よこすか落語会

地域出前講座「いきいき健康体操講座」(平成20年度)

地 区	開催場所	開催日程	定員
大 船	レイウエル鎌倉	5/15, 5/22, 5/29, 6/5 6/12(毎週木曜)	30
腰 越	腰越学習センター	9/17, 9/24, 10/1 10/15, 10/22(毎週水曜)	30
鎌 倉	見田記念体育館	9/30, 10/7, 10/14 10/21, 10/28(毎週火曜)	30

※会員以外の方の募集は、市広報でお知らせいたします。



平成20年 鎌倉市老連総会を開催

平成20年度はステップの年垣根を越えた活動に期待
4月30日、鎌倉生涯学習センターホールで、85名(うち委任状8名)出席のもと、平成20年総会が開催されました。
第一部大久保会長のあいさつでは、「平成20年度は『ステップの年』とし、『魅力ある楽しいみらいふる鎌倉づくり』を目指そう」と呼びかけ、クラブの充実、垣根を越えた社会参加活動の充実を図

り、老人クラブの存在を周知する、そして平成22年までに会員「5000人」を目標に掲げ、協力を求めました。
高齢者福祉課野田課長のあいさつの後、議長に材木座海楽会・伊藤武子氏が選出され、議事に移りました。平成19年度事業報告、収支決算報告、監査報告につづき、平成20年度事業計画案、予算案について審議され、拍手をもって承認されました。その他、一円玉等活動基金報告、財産目録等について説明があり、こちらも承認されました。
第二部では、シニア登山家の荒山孝郎氏(西鎌倉山親寿会所属)を講師に招き、「世界最高齢でエベレスト頂上秘

話」の講演が行われました。最高峰のエベレストを70歳7カ月で登頂に成功した荒山氏は、アーベントロードに染まる山頂などの幻想的な写真の数々で綴り、会場からはため息のする一コマも見られました。

みらいふる鎌倉

サマーパーティー

に、みんなで行こう！

7月21日(祝) レイウエル鎌倉

第1部 みんなで歌おうPRソング発表会

第2部 トークショー

旭山動物園園長 小菅 正夫氏

演題「夢をかなえた生き方」

7月10日(木)

講師 作家・建築家 宮元 健次氏

演題 日本の美意識 - 未完の美 -

7月9日(水)

講師 社会保険労務士 吉原 英夫氏

演題 最近の社会保障制度の動向

7月8日(火)

講師 小説家・劇作家 柳 美里氏 (対談者) 詩人 城戸朱理氏

演題 トークショー 生きることと走ること

7月7日(月)

講師 作家 入江 曜子氏

演題 溥儀と私 - ラストエンペラーの生涯

第44回 老人大学寿講座 予定表



①リーダーの意識革新

▼現在元気がよく盛り上がっているクラブの会長は70歳前の人が多い。クラブを立ち上げて数年以内、しかもすでに80～110人の会員を擁している。そして幹部の役割分担が明確化しており、定期的な打合せも行っている組織的な運営体制だ。

しかし一方、40年以上の歴史を持つクラブも多く、長い期間それなりの功績を果たしてきたのだが、高齢のため外出もままならぬ人も多数抱えている現状だ。▼2004年の「やまもも」に平均年齢88歳のクラブレポートがあったが、現在の26人の平均年齢は90歳を超えているだろう。また、一般92歳の会長が100歳の人の会員を得たと報告があったが、高齢を避けることもないが、できるだけ平均年齢を下げる努力をすべきで

単位クラブ活性化のための方策 自クラブに不足しているものはなにか？

ある。会長はクラブの若返りを常に念頭におかねばならないのだ。

▼会長は長短期を見透して、いつでも引き継ぎが出来るように後継者に日頃から目を注がねばならない。個人差があるが、一つのメドとして80歳になったら自己

をリーダーとして引き続き適者が客観視して出処進退をはっきりすべきである。

▼材木座地区には12町内会があり、それぞれ老人クラブがあったが現在海楽会ひとつを残して、すべて後継者難で全滅してしまった。海楽会の伊藤会長は、自らは後見役に回り、すでにその後継者と今後の対策を他の幹部と練っている。自クラブの他に他町内会でのクラブ立ち上げ地区振興を支援しようとしている。

▼鎌倉市老連の停滞の最大の原因は、リーダーの高年齢化と若返り対策を怠ってきたことにつきる。

②加入促進について

～日常からの

心掛けが最も大事▼会員自身が「楽しい会」の集まりと、日頃思っていないければ勧誘してはくれない。この人を、と思って狙って誘ってくれた人が加入

者のほとんどなのである。しかし、組織的な動きを日頃の活動に上乗せすることもある必要だ。

▼自治会・町内会・福祉協議会との連携を図る。

①自治会員への回覧に、勧誘文書配布を依頼する。

②地区福祉協議会広報紙に単位クラブの紹介連載を依頼する。平成18年より玉縄地区では（写真と800字）で連載、効果あり。

③自治会行事と共催（地元祭礼・盆踊り等）を考える。

▼3月に締め切った加入促進運動では全地区で計108人であったが、ほぼ同数の死去者・脱退者が見込まれ、前年比は微増と思われる。玉縄地区でも自治会等の

支援も得て、地区合計30人増えたが、やはり日常の活動に取り組んでいる坂本町喜楽会（39＋7＝46）、城廻寿会（95＋8＝103）が成果が上がり、鎌倉第二地区

の31人の成果が目立った。

▼既存の単位クラブの拡充とともに新しいクラブの立ち上げが大事だ。この種の心のつながりのない自治会・町内会での編成立ち上げ等、地域を網羅調査しての今後の問題点は多くある。

▼そして、今一度強調しておきたいのは、市老連の存在を知らない人があまりに多いことを銘記しておく必要がある。

▼「やまもも」が大増刷されている。新入会員勧誘のためのツール（道具）として、大いに活用利用していただきたいものである（今号から会員以外の読者を意識している）。

③魅力ある楽しめる

会にするための施策

(1)市内散策

～行く先はいくらでもある▼鎌倉は、寺社・史蹟・散策路に恵まれているが、地

元に住みながら意外と訪れていないところが多い。ひとりでは思いついて行きそびれているところ、案内されないところ、案内されないとわからないところが多いのだ。その盲点をついてのイベントでは一番人気であり、会員相互の発見、親しさを増す

絶好の機会なのでもある。

▼4年前に発足した「末広シルバークラブ」は、シルバークラブ（シルバーボランティア協会）（鎌倉案内人）のメンバー会員に案内してもらい、また、会長の知り合いの寺にいろいろと便宜を図ってもらったりして人気が高まり、友が友を呼ぶ形で遠い地域からも加入して当初の会員は倍増しているのだ。

▼2月末「鎌倉山の研究」（7頁）のため、有志地区長数人と鎌倉山の脇道を歩いた。参加者のほとんどが未知の道で、次にクラブの人たちを案内されたら喜ばれることは間違いない。

(2)日帰りバス旅行

～行く先に工夫をこらして大勢で、

▼主旨は(1)と全く同じ、バス車中でのおしゃべりが貴重である。地区制度が発足して従来単位クラブ内では人数不足で企画しにくかったことが解消。また会員でなくても参加で呼び水となる。地区に限らず近隣単位クラブと募集すれば45人1台分が確保できるだろうし、積極的に推進すべきイベントである。

玉縄地区は年3回親睦バス旅行を実施しているが、この3月13日に行った第9回「長瀬船下り」と川越小江戸散策」では、87人バス2台と盛会だった。このよう

に地区単位または近隣クラブとの合同も考えられる。



(3)健康増進志向のイベント

▼グラウンドゴルフ、ペタンク大会等々、単位クラブごと、地区対抗、スポーツ部主催のもの等、同好者を募って大いに実施すべきものである。従来から各クラブで寺社・街路等の清掃を取り入れているが、これも共同作業で外気に当たられて好ましい。



ふれあい鎌倉ダンスパーティー

紳士・淑女が集い、華やかに会場を彩る



12月22日、鎌倉芸術館小ホールで、ふれあい鎌倉ダンスパーティーが開催されました。

これは、みらいふる鎌倉初の近隣各老人クラブとの地域交流事業で、華やかな衣装に身を包んだ参加者総勢350名が一堂に会しました。

セレモニーは、石渡鎌倉市長はじめ多数の来賓を迎えて行われました。車の運転に例えたわかりやすいワンポイ

ントレッシンに続いて、参加者によるダンスタイム。ワルツ、タンゴ、ルンバ…と変わっていく曲に合わせて友人と踊ったり、また、「踊りましょう!」と面識がない人にも声をかけたり、楽しいふれあいの時間となりました。

豪華賞品多数の抽選会やプロによる華麗なデモンストレーションも行われ、盛況のうちに終演となりました。

(4) 自単位クラブにあった多面的なサークル活動の展開
▼「なんでもありの西鎌倉福寿会」113人と最多の人数を誇るクラブで、58号(H19・5・20)でその多彩ぶりが紹介されている。かつて、釣り同好会まであり、特技のある人を中心に各クラブとも活性化の大きな武器となるだろう。サークルを数多く展開できるクラブは集合場所・拠点を持っているところが多い。

④ 例会のあり方
毎月開催しているか、不定期は退潮の兆し! (おしゃべり会だけでは消極的でも足りない)
全単位クラブの例会の実態は掌握されていない。毎月サークル活動とは別に、全体の例会を毎月定期的に開催しているところは意外と少ないのではないか。二階堂白寿会(平均年齢74歳)は44年の歴史があるが、「第2・第3白寿会」と行事はすべて合同。発足時は池上初代会長(市老連二代目会

長)は、月2回主催、飯島第二会長(65歳で入会20年経過)によると、44年間一回も欠会はなく、筆者も12年前63歳で入会、会長は9年間やっているが、当然1回の欠会もない。自分のクラブだと詳しく書けるので、この際ご参考として具体的な運営内容を書いてみよう。
開始時間は厳守、1分も遅れない。出席者のほとんどの人が相当早くから来て談話している。

① 誕生会 当月生まれの人は前に並んで祝福を受け、1〜5分スピーチをする。この参加意識が大事。皆さん慣れて臆せず上手にしゃべれるようになった。
② 教養講座 会長中心に講師はほぼクラブ内で調達し、時に外部から招く。テーマは多彩で、「田中絹代の意地」「原節子の軌跡」「鎌倉山開拓の歴史」「二階堂の寺」「防犯の話」「貧困大国アメリカ」「危機管理」「シリア・ヨルダン旅行報告」「最近のクリニックの患者」「高齢者医療制度」等々、何か知識のお土産を与えたい気持ちである。(30〜60分)

③ 情報連絡
④ おしゃべり(30分前後)
この例会は年8回(午後1時半〜3時)、約30人出席で、杉本寺前の青少年会館。残りの月4回は鎌倉宮太平殿で(新年会・総会・慰霊祭・榮寿会)10時半から13時までで、約60人出席。総人数120人なのによっと半数である。この4回は弁当と少々のお酒が出る。

市老連事務局は体操と同じく(出前講師)制を考えているようであるが、地区

最後に各単位クラブの運営実態は千差万別であり、今後は他クラブの年齢構成や活動内容を研究・取捨選択して魅力を増さねばならない。お互いの情報も不足しているの、リーダーの研修体制を整備する必要があるのではないか。


または近隣クラブ合同で講師を呼び(ミニ寿講座)を開催されたいかがだろうか。

◆表紙の写真 橘亭の門

菅原通済は昭和のはじめ鎌倉山分譲前から打越の丘の常盤山文庫を居城とした。父恒寛は趣味人で分譲に際し、高砂の現橘亭のある三万坪の一等地を購入、「清香園」と名づけ、各地の石仏・石造物・五重塔・八角堂等を集め、梅林・竹林をつくり種々の草花を配して回遊式庭園を造出した。目前の森林、相模湾の眺望は絶佳を極める。

昭和6年通済が母祐子の命日に西御門を散策中、太平寺の跡の尼寺高松寺が宮城県に移転のため、墓石塔などの掘り起こし整理中に遭遇し、その中に二世住持日祐上人の墓があり、母と同名の縁もあって、20基の石塔と共に譲りうけ、常盤山に移す。その中に1642年建立の四脚の山門があったが、父の強い所望で清香園の門とした。また、橘亭の本館は、江戸時代の建造で戸塚の豪農猪熊家の旧宅を昭和4年移転改築したもの。2階のステンドグラス、シャンデリアも明治の面影そのままで宴会場で見られる。

地続きの3、400メートル西側の岩田宙造の和風豪邸を24年田中絹代が買ったが、早くも29年に手放したが、47年清香園は料理店「橘亭」として開業した。同じ所有者が旧田中邸を「山椒洞」として高級料理店とした。しかし、昨年暮れには、心なき土地購入者によって無惨にも倒壊され、鎌倉山の著名な建物は消えてしまった。 [K]



白寿会会報

平成20年 4月号

世界の経済の大乱動の中で新年度入りですが、この大事な時期に、認知症の政治に任せている日本の行く末については、あまり明るさが感じられません。それでも、悲観や暗さを数々経験してきた私たちは、今後の環境に耐えられないことはないと思います。新年度、気持ちを明るく持って、足元を固めながら進みましょう。

お誕生会・総会 鎌倉宮太平殿(休憩所2階)
4月お誕生の方は次の通りです。皆さんでお祝いしましょう。
お誕生月の方は出来るだけ出席になり、皆さんのお祝いの歌をお聞きの上で、お祝いの言葉を直接お受け下さい。
お祝い歌(6曲) 堀江真子様(8曲) 堀江真子様(8曲) 西澤朱子様(4曲) 中尾幸恵様(4曲)
小橋幸一様(2曲) 佐藤武彦様(4曲) 増田光世様(4曲)

引き続き平成20年度の総会を行います。①年間活動の方針、計画などを話し合うほか
②平成19年度決算承認 ③平成20年度予算決定 ④役員選挙 をして頂きます。

当日、お弁当を用意しますので、ご出席予定を4月3日までに庶務係にお申し出下さい。
出席者は、総会代一部負担金500円を、後述の年会費に加えてお支払い頂きます。
(庶務係は9日までに庶務係(庶務)に出席者名ご通達を)
新年度入りの方は4月9日までに、白寿会費1人あたり1,500円を、庶務係の方にはこれに1区画あたり1000円を加え、総会出席者はさらに総会代一部負担金500円を加えて、庶務係にお渡し下さい。
(庶務係は、10日の総会当日、庶務の白寿会費(と総会代一部負担金)を小橋白寿会会計に、庶務会費を土田庶務会会計にお渡し下さい。)

今月の当番は全庶務係さん になりますが、それ以外の方もご協力のほどよろしくお願い致します。

一円玉募金 引き続き行っていますので、会の日(休校を教へ)ご持参下さい。
首塚清掃奉仕 20日(日) 9時 (雨天は翌日)
例の第1水曜日開催です。大勢の方ご参加を期待します。

童謡教室 2日(水) 10時30分 飯島会長宅
定例の第1水曜日開催です。学校はまだ春休み中ですが、我が教室はもう新学期です。

新会員紹介 次の方が会されました。どうぞよろしく。
大島次子様 浄明寺3-3-12 電話24-6802 昭和17年7月4日生(4歳)

散策再開第1回名越切り通し 15日(火) (雨天は翌日) 1時30分 杉本前出発
杉本(青少年会館)前/明国寺/堀江古洞/堀江園地/堀江土蔵/水野野水池/大切岸上/法性寺(お昼食)/名越切り通し/名越山下/安国寺/妙法寺/大宝寺 大宝寺の後は、ご希望により、
○東鎌倉口切り通し/堀江/杉本(青少年会館)前へ、
○堀江(安楽院、八雲神社、ぼたもち寺、杉本寺、天町寺(おんめさま))経由鎌倉駅迄。
(あるいは、名越からバス)と、なります。

みらいふる鎌倉(市老連)春の旅 2泊3日バス旅行
第1日:鎌倉(区民会館)と文庫/あしかがフラワーパーク/野村胡堂邸(泊)
第2日:野村胡堂邸/野村五色荘/堀江エコーライン/堀江お茶(火口湖)/天童温泉(泊)
第3日:天童温泉/天童特産加工/須賀川(郡山の南)杜丹園/鎌倉
お申込み:3月30日
お申込み:4月7日までに、村岡(TEL24-5465)へ

農園・新年度書類配布 (農園関係者対象)
農園関係者に、農園関係のとりきめ、農園だより、農園名簿、決算報告等お配りします。
拾得物 (3月例会会場の机の上。筆記用具入れ) お心当りは村岡(24-5465)まで。以上

多彩に花開いた鎌倉文士 ―鼻政こと小島政二郎の生涯―



え・清水崑



昭和42年3月鎌倉にて

撮影・大門八郎

昭和2年の夏、文壇人すべてを谷中斎場に集めたといわれる芥川龍之介の葬儀では、小島政二郎は泉鏡花・菊池寛・里見弴の弔辞につづき、並みいる後輩を代表して靈前に立った。「悲しみ極まり、謹み慎みて諒をあらはし黙を守る」と。

芥川は遺書により自らの全集を漱石と同じく岩波を指名し、岩波は感激して引き受け、芥川の親しい友人たちを編集同人とし、最後の校正はほとんど小島と佐佐木茂索に任された。中々の難行であったが、苦しくも愛しい仕事だった。芥川のもとで出会い、2歳上の芥川に兄事し、10年のつきあいの中で相励まし、際立つ親密さを世間は、「小島といえは佐佐木、佐佐木といえは小島」と二人の交情をはやした。芥川は二人に特に目をかけ、気に入った句ができる二人に葉書を出す愛弟子だった。



下谷小を出て、京華中の頃から江戸文学・外国文学に親しみ、この頃帰朝した荷風にあらがれ、慶大文学科に入るが本科1年を終えた大正5年、荷風は辞

任し宿願を果たせなかった。この年「三田文学」に用字法を問題にした「オオソグラフイ」を発表、鵬外に認められる。更に翌年「睨み合」を掲載、三田派の新人として注目をあびる。

7年春卒業後私淑していた鈴木三重吉を訪ね、「赤い鳥」の編集を手伝い自らも創作童話を書き芥川家へ出入りするようになり、菊池・久米・佐佐木と知り合う。翌8年慶応の文科講師として国文学を講じ、これをベースにして後年著した「わが古典鑑賞」(S16)は不巧の名著といわれる。

大正11年13歳の時に出会った三重吉の妻の妹みづ子(みづこ)が成人するのを待って結婚、翌12年には、菊池の「文芸春秋」



昭和25年 文芸春秋忘年会 佐佐木茂索と

創刊時佐佐木と共に同人となる。

翌年「表現」に載った「一枚看板」は神田伯龍をモデルにした短篇でこれも世評が高かった。

大正13年最初の創作集「含羞」(S15)「新居」を刊行。この頃は有力誌に続々と作品

を発表、中堅作家の位置を占めたかに見えた。

この頃芥川の自殺に遭遇する。また、震災で出鼻をくじかれた「文芸春秋」は芥川・久米・菊池・佐佐木・小島の同人を中心に売り上げを伸ばした。菊池・久米自身の文筆活動はいつしか通俗小説に転じており、佐佐木も芸術小説の世界から去っていった。菊池は「真珠夫人」(T9)・「新珠」(T12)・「第二の接吻」(T14)と婦女を溺かせ、久米も「虫草」(T7)・「破船」(T14)と人気高く、吉屋信子・牧逸馬・大佛次郎と大衆通俗文学は大にぎわいである。

小島は鵬外・荷風・龍之介に親炙し、根深き芸術小説至上主義者であった。しかし今ひとつ佐佐木に比べても文壇での評価が上がらぬ折、純文学畑出身の先輩たちは割りきって通俗小説を書き、桁違いの収入を得るのを見て、自らの生計のためにも複雑な悩みをかかえた。

そんな頃「都新聞」が芸術小説に近いもの200回前後の連載1回13円という条件の申し入れは魅力的過ぎた。こうして最初の新聞小説「緑の騎士」が始まり、翌2年文芸春秋から刊行された。5年には「新版義士路々伝」の連載を契機に講談社の諸雑誌へも執筆するようになる。こうして生活も安定して、大衆小説家の多い鎌倉、由比ヶ浜塔の辻に転居する。

昭和7年朝日新聞に人妻との恋愛を扱った「海燕」が話題を呼び、次の「花咲く樹」でも更なる人気を集め、新聞小説の屈指の書き手となってしまう。10年には佐佐木が設立した芥川・直木賞の選考委員となり、30年の長きに亘り重きをなした。



昭和25、26年頃 久米正雄と

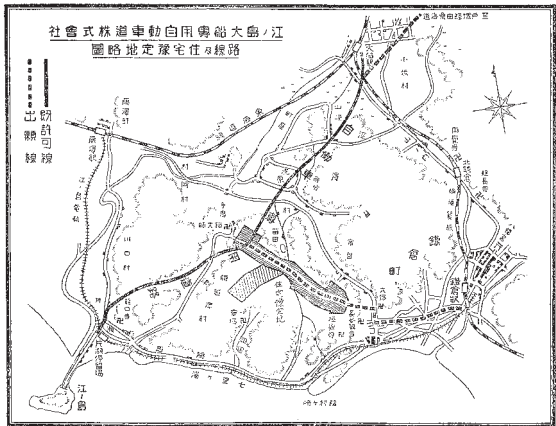
撮影・秋山庄太郎

(S32)・「葛飾北斎」(S45)と新聞・週刊誌で活躍しながら「鵬外・荷風・万太郎」(S40)・「聖体拝受(谷崎潤一郎)」(S44)・「芥川龍之介」(S52)と自身が接触した先輩作家の魅力あるすぐれた人物評伝を書き、また、27年から始まったエッセイ「食いしん坊」関連は各地の食べ物にからませた交友記で美食文学の圧巻である。

41年同年の佐佐木が72歳で亡くなり、葬儀委員に小島の名がなかった。長い一生の間、陸と日向の絡み合いの二人の仲からいって、当然あるべきと思うが、なんと川端康成と川口松太郎の名が書かれていた。通夜の席から帰って、彼は思わず深い溜息をつき時代は変わったのだ、自分と佐佐木の関係は忘れられてしまったのだ、彼は告別式には行かなかった。

42年32歳の差のある視英子夫人(41年結婚)との12年の「長すぎた春」を書き「続・眼中の人」とした。不協和音連続の波瀾の多い結婚生活だったが、視英子夫人著の「天味無限の人」ではユニークな夫婦像が活写される。最晩年の臥床10年があったが夫人の手厚い看護によって政二郎は一世紀と52日を生き抜いたのだった。

政二郎の文学の多彩豊潤さは見事なものであり、彼こそいつも自分を見つめた最後の鎌倉文士だったのだと思う。「大正文士颯爽」(95小山文雄・講談社)から多くの文章をお借りしました。名著です。是非ご一読を。(二階堂白寿会 門田 京蔵)



昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図



櫓亭の庭にて

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

昭和3年に明らかにされた江之島大船専用自動車道株式會社の事業概要と略図

鎌倉散歩 拡大版 鎌倉山を徹底研究!!

その開発の歴史と街並み探訪



鎌倉山交詢閣

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪



爆弾三勇士の碑 (S8)

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

その開発の歴史と街並み探訪

地域情報のコーナー

地域防犯力で

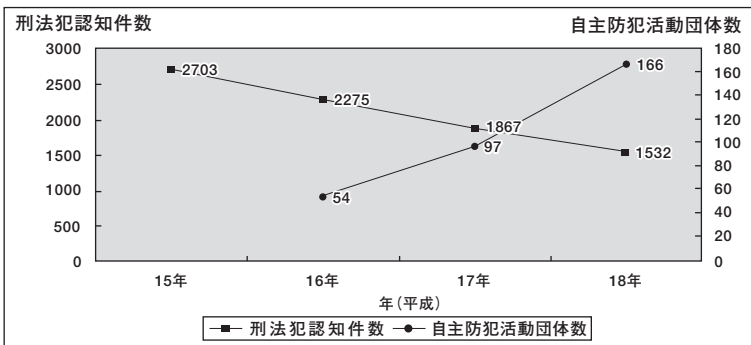
犯罪を防ぎましょう！

平成15年に2703件あった市の犯罪発生件数は、地域で防犯パトロールや子ども見守り活動などに取り

組む自主防犯活動団体が増加するに伴い、減少が続いています。

このように、様々な地域

《犯罪発生件数と自主防犯活動団体数のグラフ》



で取り組まれている防犯パトロールや子どもの見守り活動などは、犯罪者を寄せ付けない環境をつくることに、活動を通じて、住民や子どもたちとの触れ合いなど、世代間を超えた交流も活発に行われています。

無理のない、できる範囲の中で、一人ひとりの取り組みから防犯活動を始めてみませんか。



市では、わんわんパトロール腕章を貸し出しています。愛犬との散歩時に、腕につけて歩くだけで犯罪を抑止する効果があります。気軽な防犯活動に取り組んでみませんか？

貸し出し等の詳細については、安全安心推進課（内線2954）までお問い合わせください。



わんわんパトロール腕章の貸し出し

みんなで参加、
みんなが主役の福祉

ご存知ですか？

社会福祉協議会（社協）のこと

社協は、行政組織ではなく「誰もが安心して暮らせる地域づくり」をすすめるために地域住民やボランティア・福祉・保健・医療関係者、行政機関など多種多様な方々の協力を得ながら地域福祉を共に考え、実践していく公共性の強い民間の社会福祉団体です。

老人クラブ連合会の皆様には、社協の第6種会員（社会福祉を目的とする法人・団体）として仲間同士の交流を通じた生きがいと健康づくり、そして知識や経験を活かした世代間交流など地域福祉の推進に貢献いただいております。

社協では、市民にもっと身近な福祉を感じていただきたいと考え、さまざまな活動をしています。そして、福祉の総合相談窓口として、

どこに相談すればよいか、どのような解決策があるかなど一緒に考えていきます。お気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】 ☎ 23-1075

「鎌倉市社会福祉協議会ホームページ」をご覧ください。（老人クラブ連合会ホームページのリンク先に掲載されています。）

本紙「やまもも」が、
セブンイレブンで手に入る！

みらいふる鎌倉会員広報紙「やまもも」が、今号（60号）から鎌倉市内下記のセブンイレブン各店舗に置かれることになりました。ご協力に感謝いたします。

店名	電話番号
大船西口	0467-46-1150
鎌倉手広	0467-31-4434
鎌倉小袋谷	0467-45-1711
鎌倉稲村が崎	0467-22-2104
鎌倉岩瀬	0467-45-1707
鎌倉富士見町駅前	0467-46-5752
鎌倉深沢	0467-47-0229
鎌倉観音前	0467-22-0370
腰越海岸	0467-31-2449
鎌倉由比が浜2丁目	0467-23-5609
鎌倉七里ガ浜	0467-31-8117
鎌倉手広西	0467-31-1021
鎌倉岩瀬北	0467-47-0611
鎌倉城廻	0467-45-8377

▼作詞は、日本レコード大賞作詞金賞を4回受賞され、現在も活躍中の渡辺なつみ氏にお願いしました。

みらいふる鎌倉

FOR.みらいふる鎌倉

生まれて来て良かった 美しい星に
寄せては返す 波が運ぶ 生命（いのち）よありがとう

見上げる空高く 舞い翔（と）ぶ海鳥
優しく強く 連なる山に 守られながら

明日輝くみらいふる みらいいらいみらいふる
振り向く時がきつとその背中押すだろう
人はいつでも夢を心に 心に生きる
みらいいらいみらいふる みらいふる鎌倉

涙が頬濡らして 悲しい時は
忘れずにいて ひとりじゃない 仲間がそばにいる

眩しい雨上がり 七色虹橋
光に揺れて 微笑む花に その手伸ばして

明日頑張れみらいふる みらいいらいみらいふる
幸せそれは生きること今日を愛すること
ああ何処までも続く青空 心に映して
みらいいらいみらいふる みらいふる鎌倉

明るくポップな曲を大募集

みらいふる鎌倉

PRソング

を作ろう！

していないアマチュアの方（音楽著作権管理団体等に管理されている作品のない方）。
【賞品】グランプリに輝いた作品には賞金3万円を進呈します。
【審査発表】7月下旬、みらいふる鎌倉ホームページ上で発表します。
【応募方法】録音したコンテツ（カセット・MD・

CD-Rのいずれか。返却は致しません）を、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、作品に対するコメントを明記の上、左記事務局へ6月15日までにお送り下さい。
〒248-0868
鎌倉市御成町18-10 鎌倉市役所高齢者福祉課内
みらいふる鎌倉事務局
番組企画部会まで。

「鎌倉市史」の編纂、

漂浪記紹介の先達者

— 知る人ぞ知る歴史学者・亀井高孝 —



「環海異聞」より

平成2年、50余年住んだ地から山ノ手に移りたいと森敵たる護良親王の墓の下、理智光寺跡に転居した。妻はこの地は父が何度も来たところ、今のわが家の裏側の背中合わせが亀井高孝邸で、父の趣味「日本人の見た外国」の研究で亀井家を訪ねていた。亀井さんは私たちが引越す14年前に既に亡くなっていた。

5年前小町通の木犀堂で「葦蘆葉の屑籠」(亀井高孝著)という豪華な本を手に入れた。昭和44年83歳の時の出版で回想文集と書きおろしの560頁の自伝である。

亀井高孝(以後敬称略)(1886~1979)は、明治22年伊賀名張藩藤堂家支流の高矩の二男として出生。4歳の時実父と死別。維新の変革を乗り切る手だてを知らぬ実家は遺子を養うことも出来ず養子に出す。養家は名古屋藩の倉米を扱っていた商家で、養父は勤儉力行型の努力家で家運挽回のため上京、三田に居を定め、亀井は幼少・青年期を三田界限になじみ成長した。

養父は明治末年に亡くなったが、最後まで貴い子を秘し、彼も実子と信じていた。少年期の家庭は明るい

ものでなく小6の時養母が新しい母に代わる。幸なことこの母が帝大生を絶対的に崇拜しており、彼は1年間試験的登校という名目で東京尋常中学(のちの一中)への進学が認められる。父も次第に商人に不向きと悟ってズルズルと上級への進学を黙認、「一中の生活は識見ある実力派の先生の教導によって自分の学問の基礎はあけて中学教育のお蔭」と述懐している。



自慢のゲーテンベルク聖書の前の85歳の頃(安田三郎撮影)

明治36年一高一部甲類に第三席の成績で合格。家の束縛から解放され、日露戦争の中にはさんだ3年間の一高生活は俊秀たちとの交遊に恵まれ、彼の生涯の糧となった。友人の大半は帝大の哲学科に進み、一人史学科(西洋史学)に籍をおき孤独だった。

明治42年学生生活を終わった時は23歳、まず開成中学で日本地理と西洋歴史を

受け持つ。渾名は「坊っちゃん」。45年から9年ぶりの母校一中の教壇に7年、ここでは「らっきょうの逆立ち」だった。

大正9年水戸高の創設に参画し、12年から終戦まで22年間一高教授で「不惑知命の20年間で最も有意義

な生き甲斐のある人生だった」と回顧する。

一高では幹事・教頭の任にもついたが、末期校長のお鉢が回ってきた。「しかしこの青天の霹靂は(理由は記されていない)アツケなく消え去った」とある。

一高同窓の安倍能成が校長の時、「私は下僚として上長官校長に気軽に進言するが、独裁的命令的で相談的でない安倍は一蹴する」。またある時「教頭を代えようと思うが誰がよろう、

君はその任ではない」、亀井は「むろんその通りだ」と答えたものの意中の後任教頭が不慮の失態で辞任、先のやりとりから半年もたたぬのに烙印された私に「後任になれ」と要請され、心弱くも教頭職に納まったこともあった。亀井は自らを「脇役で終始し、およそ『長』と名のつく指導的地位に就いたことがない」といっている。

今一人、一高教授時代先輩で教職員室での同僚菅虎雄(菅虎・菅野)と20年来叔父のように交際した。菅の家(現平山町)から二階堂川をはさんだ対岸の土地を推薦され、昭和8年この地に永住の家を建てる。二軒隣りに教え子の小山富士夫(菅野、近くに大佛次郎もいて親身の世話が有難かった。

最後の教員生活は清泉女学院で開校の24年から36年まで大学と高等科で教鞭をとり、鎌倉在住の元一高教師たちを招聘しこの清泉時代が最も楽しい教員生活だったようだ。37年に作った「世界史年表(吉川弘文館)は今なお現役で、46年間亀井の名は編者代表として不動である。

さて清泉の教授になった翌25年(63歳)、図らずも市史編纂が市で決裁され、その肝煎役に委嘱される。市役所に知人もなくこの種の折衝には不得意で大いに苦労した。まず委員会

を組織すべく、20年来一高で同僚の編纂部長坂本太郎博士に専従出来る人材の推薦を頼んだ。折よく大学を定年退職する高柳光寿氏(史料編集)が決まり、その介添として同所の元所員貫達人(亀井の教え子)も決まって、27年4月2人のスタッフをもって発足する。

役所の所属は二転三転、予算も不十分で困惑した。後に属した社会教育課の沢寿郎と渋江二郎(国宝館館長)の2人が市の側に立った有力な推進協力者であった。高柳・貫の二人は元勤務所へ出入り自由であり、更に2名が編集員に増員された。仕事は潤沢な史料の



大佛邸への散歩(大佛次郎記念館提供)

史料篇3冊大増頁で納入。「総説篇」(鎌倉市の歴史の柳が、「社寺篇」(社寺・国書)は他の三人が、「考古篇」(552頁)は赤星直忠博士の研究成果を収め、市政施行20周年記念事業のギリギリの34年10月完成したのだ。当時の学界の泰斗と気鋭の新人が地方史の常識を破った画期的な仕事と評価された。この6冊は江戸時代までで、近世近代篇の続篇は、56年から13年かかり平成6年貫達人等の引き続く努力で完結した。この「市史」こそ鎌倉の歴史・史跡に関心ある人は座右に置くべきものであろう。

次の亀井の功績は、当時あまり関心が薄かった漂浪記ものの先鞭紹介者たる事である。53年に井上靖が「おろしや国酔夢譚」を、近くは吉村昭の「大黒屋光太夫」「漂浪記の魅力」等で苛烈な海の冒険話として改めて話題になったが、その原典は「北槎聞略」と「環海異聞」である。伊勢の船頭光太夫たちの乗船が江戸末期船の難破でロシア領に漂着し苦難の末ロシアの開国干渉に利用され11年後に帰国した。きつい法度の最中での取り調べ・供述や、異国での見聞を蘭学者桂川甫周が筆録したのが「北槎聞略」であ

る。幕府は鎖国の中であまり公表したくはなく、「巷間に伝わることは絶えて稀なり」という記録を亀井は明治天皇の崩御のあと神田の和書店で手に入れる。読後光太夫が識見並々ならぬ人物とほれこみ、昭和12年図入り豪華本を校閲者として出版する。40年吉川弘文館より増補覆刻され、平成2年岩波文庫に収まった。さらに弘文館の人物叢書の一冊として「大黒屋光太夫」(S37)、「光太夫の悲恋」(S42)も刊行。昭和41年彼の足跡を追ってロシアまで執念の旅は続いた。光太夫の紹介より15年遅れて同種の若宮丸の漂浪譚「環海異聞」も亀井により紹介された。私の義父は全冊乱れぬ筆跡と美しき直筆彩色画による6冊15巻の江戸末期の「異聞」の写本を神田の一誠堂で求めていた。この珍しき和本を父亡きあと私が譲り受けたが、手にとる度に、往時義父と亀井さんがこの写本を間にしての会話を想像したりしている。

亀井の晩年は老いからくる病になやみながらも、弟子たちの経営する病院を移りながら世話になり、52年93歳の長寿を全うした。親しかった瑞泉寺の天下豊道和尚が「史芳院瑞岳高孝大居士」と戒名を与え、寒がり屋だった亀井のためにほこらの中に特等席の墓をつくってくれた。(K)



稲穂会の歴史探訪

稲穂会 渡部 光治

鎌倉に生まれ育った人は少数で、鎌倉に憧れて移り住んだ人たちが大半です。鎌倉に住んでも勤めのある間は寺院見物はそのうちいつでもと後回しになってしまい、定年後は時間ができても独りで神社を見て歩く気力も興味も失い、せっかく鎌倉に住んでも鎌倉のことをあまりにも知らない過ぎて、誠にもったいない話です。

私も鎌倉に移り住んで41年、10年前に稲穂会の「歩こう会」に参加して初めて鎌倉の寺社巡りを経験しました。鎌倉の初めて歩く細い路地に興奮したものでした。一般の寺社以外に内藤家墓地・曼陀羅堂跡・散在ヶ池・朝比奈切通しや、鎌倉市外の舞岡公園・小田原城・夕日の滝・大山詣り・城ヶ島・箱根湿生花園・三溪園・田谷の洞窟などの見学会に参加しました。

今の「歩こう会」の悩みは、新規若年会員の皆無と従来会員の高齢化です。自分の行ったことのない所には興味を持ちますが、一度でも行った所や急な坂道や長い階段のある所は敬遠されてしまいます。

そこで比較的楽で人気のある所を市外に求め、湯河原幕張梅園・称名寺・川崎大師・寒川神社・遊行寺・赤レンガ倉庫・鶴見総持寺・平塚宿・二宮尊徳記念館・片瀬の江ノ

島道・三嶋大社・神奈川宿・川崎民家園・町田薬師池公園・大雄山最乗寺・しおさい公園・二宮蘇峰堂などを選びました。

特に年配者に人気のある「日帰りバス旅行」を計画して年に1、2度実施して好評を得ています。行き先は、巣鴨とげ抜き地蔵尊・浅草観音・日向薬師・宮ヶ瀬ダム・鹿島香取神宮・伊豆長岡温泉北条の里・鏖阿寺と足利学校などに出掛けています。

最近では、近くにあってもあまり見向きもされなかった「鎌倉の碑」も訪ねています。これは鎌倉の広範囲に点在し、しかも全部で80基もあるので楽しみにしています。鎌倉には約83の寺院があり、五名水・七切通し・七福神・十橋・十井と見学には事欠きません。

同じ悩みを持つ鎌倉第二地区の極楽寺橋会・山百合会・若葉会の3会を誘って「歩こう会」とグラウンドゴルフの会「ひまわり会」を運営しています。

最近では、鎌倉第二地区以外からも数多く参加されています。

先人の残してくれた夢と希望をともに楽しもう

手広喜楽会 渡利 晴夫

前号の「記憶の中の小学校時代」熊代教育長の思い出と自分とを比べて読ませていただいた。

私は昭和16年開戦の年の生まれで先生より2つ年下だが、戦後の悲惨な思い出はなく、近所の空き地で毎日草野

球に興じ、野山でターザンごっこと恵まれた環境だった。当時はまだテレビのない時代で大人の楽しみはラジオから流れる歌と映画館通いだった。

今はテープやビデオで簡単に昔の文化遺産を楽しめる時代となった。自分もできるだけ後の世代に継承したい気持ちで強く、自分の老後の青春を楽しみたいと願っているが、一人で見たり聞いたりでは喜びも今ひとつで多くの人たちと共に語りたい。こんな気持ちで一步進めて、夢と希望を与えてくれた先人に対する恩返しとしてささやかな会を立ち上げている。唱歌と小津映画が好きなので、「日本唱歌保存連盟」と「麦秋忌の会」（小津監督を偲ぶフアンの集い）である。ご関心のある方は、老後の愉しみのひとつに加えていただければ幸いです。（032148002）

小さい頃の苦学の思い出

台新町柏寿会 新倉キヨ子

私は70年前、佐渡相川町で育ち、尋常高等小学6年の春、母が病で他界しました。女学校に入学するにも毎月の月謝が当時50銭でした。ちょうどその頃、相川町には大衆劇場が一軒だけありました。運よく学校が終わると毎夜案内係として働けるようになりまして。現在で言えばアルバイトです。毎夜映画、芝居、さまざまなこともあり、11時過ぎでないとわが家に戻れなく疲れきっていて、学校の授業の時はいつも居眠りをしていました。級友が「先生、村田（旧

姓）が眠っている」と告げ口をすると、先生は「村田は今のことで大変だからな、少し寝かせてやろう」と言ってくれました。後で分かったことです。

でも私は夜の仕事でも嬉しいことがありました。お客様が入場して大入りになりますと、興行師の方から大入袋が出ました。かけそばもいただきました。その時、世の中では苦しみや楽しみがあることを子どもながら身を感じました。

現在、息子が家をつくりお世話になっていますが、若かりし頃を思い浮かべてみて、私は今が一番幸福者。83歳になりますが、感謝の念でいっぱいです。これから何年かの人生を楽しみながら努力して暮らしたいと願いながらペンをおきます。

玉縄小学校の思い出

名越長寿会 吉田實佐子

「庭面に高く建てられし」と校歌にむかえられて、昭和7年に入学しました。受け持ちの横田文忠先生は、円覚寺の塔頭、富陽庵の住職で、教員を兼務しておられ、母と兄二人がお世話になり、学校の主といわれた方でした。校長は花上先生、教頭は八代先生、お二人とも私の卒業までおられました。また、同級生に私たちより少し年上の韓国人の金秉坤君、とてもやさしくクラスの人気者でした。今どこにおられるのか、折にふれ思い出します。

当時の学校は、トンネル

の先の竜宝寺の前にあり、こぢんまりとした校舎は平屋建ての古い建物でした。生徒は1年から6年までの6クラスと、高等科の2クラスの小さな学校でした。暗いトンネルの天井には、「ごもり」がぶらさがっていて、いつもこわくて走って通りぬけたものでした。

現在の場所に新校舎を建てるため、小林和三郎さんの裏山をくずして、トロツコで土を運んでできた敷地に、昭和12年7月、新校舎ができあがり、6年と高等科2年は、来春卒業というので一足先に入ることになりました。木の香がぶんぶんとして、なんともいえない気分で、「新しいっていいなあ」「でもよごしては大変」と、子どもながらに習字の時間や絵の時間には特に気を使いました。また、校庭といえは山から運んだままのド・タン・岩がゴロゴロしていて、私たちは体操の時間や休み時間に家から持ってきた「げんのつ」でたたき、校庭の地ならしです。端から端までならば、夏の暑いさかりの作業でした。とてもものんびりした作業でしたが、懐かしい思い出です。

その母校に1年、私は代用教員として短い期間でしたが、勤めさせていただきまして。小学校と教員生活と本当に書ききれない私の思い出の故里です。

今の玉縄小学校は、立派な校舎に建て替えられて現代風ですが、ちょっとさびしいですね。でも前を通るたびに昔を思い出し、懐かしさにつき立ち止まってしまおうのです。



◆俳句

新鎌倉りんどう会 中久喜たい
都井岬の馬四五頭や山笑ふ
冬すみれ波の光に咲いてをり
浄明寺寿会 山本 照子
銅板の屋号の重み燕の巢
望楼に人影見ゆる花月夜
山ノ内梅鶯会 高橋 斌
路味噌を作り終れば夕迫る
車輻寄せせせらぎ開くや春の水
山ノ内梅鶯会 山下カヨ子
坂登る佇み桜一望す
賞外れ並ぶ黄菊も立派なり
七里方浜句会 阿部 弥生
閉院の貼り紙ゆれて春の風
谷戸の水秘かに奏で温みけり

七里方浜句会 加野 遥
海に向く軒毎風の干し若布
前掛も更衣して厨ごと
七里方浜句会 伊地知典子
やわらかな陽射しを浴びて梅笑う
春一番待つてましたと大暴れ
七里方浜句会 下條 怡生
杉の花鳥天狗の現はるる
花過ぎて「トロイメライ」の聞えをり(白昼夢)
七里方浜句会 佐々木和子
わかめ採り一つに栄螺ついてきし
田螺たにし和え野趣のあふれる料理なる
七里方浜句会 敦賀 笑子
一滴も残さず注ぎて新茶かな
藤の花髪にかかりて若やぎし
七里方浜句会 藤枝 笙
灯より濃き春月丘を低くする
海へ出て暈を揚げし春の月
七里方浜句会 松原 薫
ものの芽やよちよち歩きの子をひく手
桜咲く電話の向こうはずむ声
七里方浜句会 棟渡登志子
腰越や若布ののれん風にゆれ
ものの芽の日の蔭もあり段葛

◆短歌

七里方浜句会 矢島 芳子
笠雲に富士逆らわず春の立つ
春泥やまこと小さき文士墓
七里方浜句会 吉田 尚
霜柱踏んで喜ぶ子供たち
クロッカス新芽を見せて春を呼ぶ
七里方浜句会 米澤せつ子
白妙の衣は脱がず春の富士
連休の今日は何の日柏餅

◆川柳

笛田東芝柏校会 小原 康子
列島に菊の香高き文化の日
金祝の師をかこみ寿ぐ
いとやさしき言の葉しかと胸にあり
天に召されし君に逢ひたし
笛田東芝柏校会 原田ダルマ
ふくよかな顔にかくれた幾山河
不器用な言葉の奥に愛が見え
逆境に思わぬ人が杖になり



今号の やまももさん
浄明寺第三長寿会
田中 恒一さん (97 歳)

4 月、滑川 (なめりがわ) の優しいせせらぎと満開の桜が咲き誇る浄明寺。田中さんはこの地で長きにわたリ酒屋を営んで来た。ピンと伸びた背筋と美しい正座が印象的で、とても若々しい。
大正元年 11 月 20 日、横浜市に生まれる。大正 11 年に父親が亡くなり、翌年の関東大震災により母親を亡くす。4 人の兄妹はバラバラに逃げて横浜の八幡山で落ち合った。その後、それぞれが親戚に預けられ、田中さんは名古屋にある母方の実家に引き取られた。親がいないことを理由に馬鹿にされない
ようにと勉学に勤しんだといふ。
小学校卒業後、鎌倉市の酒屋に奉公に来る。丸 10 年修行して宝戒寺に店を持つことができた。そして、双子の息子の小学校入学を機に浄明寺に越して来て、現在の酒屋に。今も店のご意見番としてなくてはならない存在だ。
田中さんには大事な大事な御守りがある。シベリア抑留の際にも肌身離さず持っていた 2 人の息子の写真だ。商売しながらでも単



旧華頂宮邸へお散歩

位クラブ会長などをやって来れたのは 2 人に安心して店を任せられたからと微笑む。
趣味は旅行で、日本各地の観音めぐりをして来た。

今も近所の杉本観音には毎月必ず行っている。足腰が丈夫なのはこれのおかげだろう。自宅から徒歩 10 分ほどの旧華頂宮邸にもよく散歩に行く。うぐいす、しだれ桜、ぜんまい…と季節を存分に感じる事ができる絶好の散歩場所。「家賃のいらない別荘だよ」とジョークを飛ばす。
田中さんのどんな逆境にも立ち向かう強さ、周囲の人に対する思いやりの心は今まさに満開である。

(取材 都筑・山本)

祝 やまもも 第 60 号発行！

会員みなさまをはじめ関係各位に支えられ、本紙やまももは第 60 号を発行することができました。そして、各先生方から温かいお祝いメッセージをいただきました！ 本紙はさらに 70 号、100 号に向けて発展継続できるよう努力してまいりますので、今度ともご支援ご協力をお願いいたします。

鎌倉市老人クラブ連合会機関紙「やまもも」の 60 号記念を、心よりお祝い申し上げます。今や日本全体の 65 歳以上の人口が 2 割を超え、高齢者に対する社会の認識も「保護される対象」から「社会形成の実力者」へと大幅に変化してきました。

「みらいふる鎌倉」は、この動きを先取りするよう、率先して個人の健康を増進す

創刊 60 号ということで、おめでとございませう。人生と同じで、いろいろあるでしょうが、続くこと自体に意味があるといったら、叱られてしまいますか。

いまはメディアもすっかり変わってききました。新聞が元気がなくて、テレビもなんだか将来が心配されています。パソコンが普及したおかげで、通信とメディアが合体するのが未来の形というのが、常識になってきました。そういうわけで、ピンと来ない。パソコンを使わない人は、そう思うかもしれません。まあそれでいいわけで、若い

わが家では母が地元の老人会の会計を長らく担当していたので、初期の頃から機関紙「やまもも」を手にする機会があった。だが読んでことはほとんどなかった。母は昭和 51 年から十数年間、市の老人大学寿講座にせっせと通った。その頃、小原東治さん（元一小学校長、後に教育長）が自費出版された『高齢者の友 第 1 輯―日々是好日』という健康に関する冊子を母は講座の会場で購入し、私に見せてくれ

るばかりか、地域づくりやボランティア活動の主役として活動し、高齢者の存在をアピールしていらつしやいました。

長生きしてよかったと思える社会、同時に人間が長生きするから良くなったと言える社会をつくる責任が、私たち高齢者にあるのです。

今後ともますますのご発展をお祈り申し上げます。



NPO法人
高齢者社会をよくする女性の会
理事長 樋口 恵子

社会が変わり、生き方が変わり、精神年齢も肉体的年齢も健康年齢も実年齢とは異なる個性を持つ方々が増えました。生まれ年で輪切りにするのではなく、一人一人の個性を見つめ、ここから新しい人生のページが始まることをイメージする言葉として「みらいふる」は、とても良い響きがあり



千葉商科大学教授
神奈川県教育委員
宮崎 緑

ますね。今、世界遺産登録を目指している鎌倉にあって世界に誇れる最大の宝は他ならぬ市民である、と言われるような素敵な活動をお続けください。歴史も文化も、一人一人の人生が織り成す集大成なのですから。

皆様のますますのご健勝とご活躍、そして貴会の一層のご発展を心よりお祈り申し上げます。

すが、元鎌倉市長の同級生、中西功君たちと、横浜は野毛の博覧会にいったことがあります。

そこではじめてテレビを見ました。隣の部屋が映ってました。隣の部屋を映すなら、窓をあけりゃいいじゃないか。子ども心にそう思っただけでしたから、当時から技術の未来に対して、見る目がなかったことがわかります。



東京大学名誉教授
養老 孟司

私の母親は開業医で、人力車で往診をしていました。それがやがてタクシーに変わってしまいました。母の死後、その人力車が観

小原さんの冊子は毎年発行され、大好評だった。亡くなる前年には最後となった『第 9 輯―古都鎌倉の俳句会』ができて、母の本棚にも並んだ。私の昔の句も載っていたので、佐助のお宅に出かけて一冊分けてもらった。



やまもも万歳
郷土史家 (大町八雲会)
清田 昌弘

先年、私はすめられて町内の 60 代の男性

原稿募集―投稿規定―

会員の皆様からのご投稿をお願いいたします。次号の題材は自由（600 字程度）ですが、今号に関連した意見・感想を特に歓迎いたします。

短歌・俳句・川柳についてもご応募お待ちしております。

◎送り先は鎌倉市役所高齢者福祉課内 みらいふる鎌倉事務局（鎌倉市御成町 18-10）まで。

◎原稿締め切り 平成 20 年 8 月 20 日

◎紙面割りの都合で、原稿の採用、内容の一部修正等についてはご一任願います。原稿等は返却いたしません。

編集後記

▼市老連の実態をレポートしました。現実を見つめて各クラブが今後のあるべき姿に取り組むべき時と想います。今のままでは「みらいふる鎌倉」になりかねません。▼早乙女先生の熱烈なる会津魂には、いつも圧倒されます。代表作「会津土魂」21 巻にチャレンジしてみませんか（集英社文庫、または中央図書館）。▼独自の境地を開いた小島政二郎「鎌倉市史」への功労者亀井高孝、知る人ぞ知る鎌倉を愛した二人の文人を紹介しました。▼この 5 年間に紙面をかざった方々から温かい励ましの言葉をいただき、厚く御礼申し上げます。また、諸先生方のメッセージをはじめ、親子二代にわたり「やまもも」を読んでいただいている清田さんの言葉は嬉しい限りの原稿でした。（K）

◆スポンサー各位へ御礼◆

「やまもも」発行に際しご協賛いただきました各位に厚く御礼申し上げます。本紙は会員相互の交流と生きがい向上に、さらに内容の充実にも励んでまいります。今後とも倍旧のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。みらいふる鎌倉